

アクティブ

ガーデンエリア(園庭)

5月2日(木)~5月17日(金)

～化石発掘・築山で滑り台～

- ★粘土質の砂場は水を流すと固まる性質があり、子どもたちは試行錯誤しながら、スコップを使って固い砂を一生懸命に掘りおこしていました。
- ★いくつかの固い砂の塊を掘りおこし、積み上げていくと「化石みたいだね」という発想が生まれ、そこから化石を発掘する遊びに発展していきました。
- ★キャンプコーナーで敷いていたレジャーシートの上を「スケートだよ」と言って滑り始めた子どもたち。もっとたくさん滑れるようになるにはどうしたらいいのかを考えました。



「砂が硬くなってよ」
「スコップで掘ってみよう」
*どんな道具を使ったら、固い砂を掘ることができるのかを保育教諭と一緒に考えながら、友達と協力して何度も穴掘りに挑戦していました。

<協同性>



「化石みたいだね」
「こっちにも化石あったよ」
*自分で発掘した砂の塊を化石に見立て、友達同士で見せ合う姿がありました。また、靴裏の模様を固い砂に押し当てて、自分だけのオリジナル化石を作って楽しむ姿もありました。

<豊かな感性と表現>



「築山にシートを敷いたら、もっと滑れるようになるかもね」
「築山にシートをくっつけてみよう」
*シートを築山に運び、滑り台を作りました。滑るたびにシートが落ちてしまうことから、テープを貼ればシートが落ちないことに気づき、みんなで協力しながらテープを貼って手作り滑り台を存分に楽しみました。

<思考力の芽生え>